

# 特集 平成22年度予算のあらまし

## 財政用語の解説

**歳入・歳出** 地方公共団体のその会計年度の一切の収入を歳入、支出を歳出と呼んでいます。

**自主財源** 地方公共団体が自らの手で徴収、収納できる財源。地方税、使用料、寄附金などがあります。

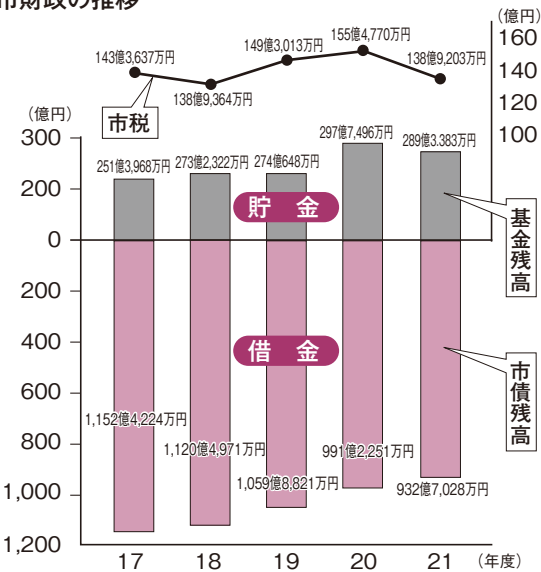
**依存財源** 収入にあたって国や都道府県の関与を受ける財源。地方交付税、国庫支出金、県支出金などがあります。

**地方交付税** 市町村間の財政力の不均衡をなくし、一定の住民サービスができるよう市町村の財政力に応じて国から交付されるお金。普通交付税と特別交付税があります。

**地方債（市債）** 市町村がする借金のこと。税負担の公平性を保つために道路や建物など長期にわたって市民が恩恵を受けるものを整備するときには、大きな働きをします。

**公債費** 事業を行うために借りたお金（市債）の元金・利子などを支払うための経費です。

## 市財政の推移



※ 17～20年度は決算ベース。21年度は3月補正後の予算ベース

## 特別会計・企業会計別の予算額

### ●特別会計

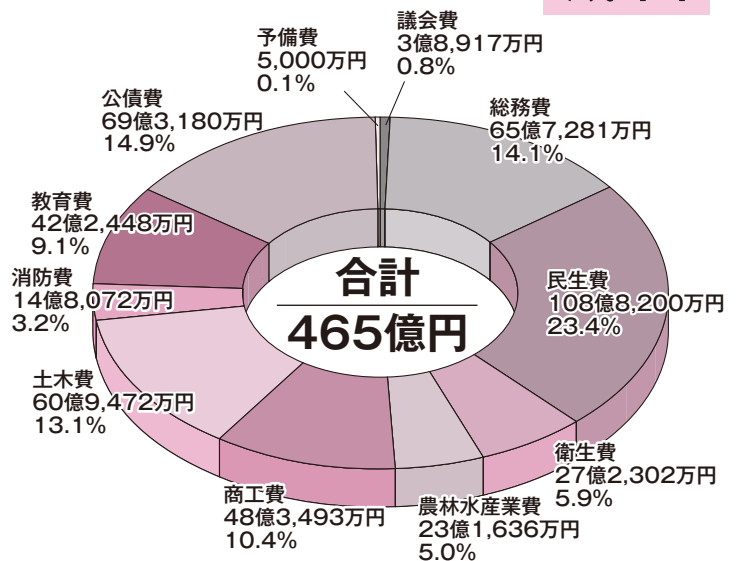
区 分	22年度予算額	21年度予算額	比較%
国民健康保険事業(事業勘定)	99億4,073万円	91億3,682万円	8.8
国民健康保険事業(直診勘定)	6億6,622万円	6億5,064万円	2.4
老人保健医療事業	293万円	608万円	△51.8
下水道事業	37億360万円	38億9,266万円	△4.9
地方卸売市場事業	4,916万円	4,908万円	0.2
学校給食費	4億3,487万円	4億3,795万円	△0.7
簡易水道事業	6億9,252万円	8億726万円	△14.2
農業集落排水事業	7億4,933万円	9億7,788万円	△23.4
介護保険事業(保険事業勘定)	78億1,946万円	75億4,621万円	3.6
介護保険事業(介護サービス事業勘定)	2,944万円	2,944万円	0.0
観光施設事業	2,620万円	6,197万円	△57.7
スキー場事業	9,551万円	9,035万円	5.7
後期高齢者医療事業	9億6,589万円	9億3,043万円	3.8
合 計	251億7,591万円	246億1,682万円	2.3

※万単位未満は切り捨てのため合計は合わない。

### ●企業会計

区 分	22年度予算額	21年度予算額	比 較
水道事業	19億5,329万円	16億8,740万円	15.8

## 歳 出



## 3・3%増の 積極型の予算編成

22年度一般会計予算は465億円で、前年度に比べて15億円、3・3%の増となりました。主な要因は、子ども手当支給や駅周辺施設整備、国府支所庁舎建設などとなっています。また引き続き、景気・雇用対策に取り組みなど積極型の予算となっています。

歳入では、特別枠が創設された地方交付税の増額はあるものの、景気の低迷により市税は前年度に比べて5・6%の減収見込みとなっています。各種の貯金(基金)を取り崩して歳入を確保する一方、新たな借入れを抑制し、市債残高の削減を進めています。

## 高山市の発展を 引き継ぐために

人口減少、少子高齢社会の到来により、今後行政需要はますます増えてくるもの、地方交付税の削減など一段と財源の確保が厳しくなっていきます。

次代を担う子どもたちに、「やさしさ」と活力あるまちを引き継ぐため、市では今後とも市民のみなさんのご理解とご協力を得て、行政改革を積極的に推進していきます。